

子育て支援定住促進住宅整備及び富河地区ランプエリア構想に対するご意見への回答

追加 令和7年8月25日現在

子育て支援定住促進住宅整備について

・企画課にて所管する結婚新生活支援事業等も活用しながら、本計画の住宅で同世代の方々とコミュニティを深めていただき、次のステップとして定住促進宅地分譲や空き家利活用等により定住へとつなげていただきたいと考えています。また、その他子育て支援策についても「第3次総合計画」に基づき、今後各課にて対応していくものと考えます。

・「戸建ての庭付き」が良いことは、当然承知していることではありますが、すべての家庭で初めから戸建てを購入する経済力や覚悟があるとは考えにくいと思います。まず、南部町に住んでいただくための選択肢の一つです。

・住宅の整備が実現できた場合、最初からすべて入居していただくのは難しいのかもしれませんが、移住希望者からの問い合わせに対して速やかに紹介するネタの一つになり得ます。また、たとえ空き室があった場合でも「ランプエリア構想」と結び付ければ、有事の際、仮設住宅よりも迅速に対応できる被災者への住居としても考えられます。

子育て支援定住促進住宅整備場所について

・今回提案されました民地の購入を例として考えてみますと、標準的な推測になりますが、土地購入費（13,500円×4,000㎡）が5,400万円プラス補償費→予算計上→議会承認→税務協議→契約→用地測量及び登記事務。土地造成においても周辺住宅への影響を考えた排水路整備やインフラ整備→設計及び工事費予算計上→議会承認→発注。既存建物等があればそれらの解体→調査費、設計及び解体工事費→予算計上→議会承認→発注。これら住宅を建設する前の造成完了までに約2年、費用も2億円位は必要になると予測されます。

・検討の結果、現時点で町有地のうち「富河中学校」を最優良候補地として選定しています。理由については説明会等で説明させていただいております。

・

南部町富河地区ランプエリア構想について

・整備の際にはご指摘の避難所国際基準（スフィア基準）に少しでも近づけられるように、交通防災課との連携及び県等に助言をいただきながら進めていきたいと考えます。

・富沢小学校については、現在「ノーチャイム」のようですが、校庭の声や校舎内の声が常に騒音となることは考えにくいと考えます。また、今回整備予定の住宅は、子育て世代に特化しておりますので、高気密、高断熱等、県でも推奨する快適住宅基準を考えていく予定です。